

Ⅲ 「(仮) 飯山ぷらざ」の機能

建設検討委員会では、「(仮) 飯山ぷらざ」の施設の機能として、芸術・文化機能をもったホール施設と、交流・にぎわい機能など、施設の役割を一層高めるための付加機能を併せ持った複合施設を基本条件として検討をしてきました。

報告書では、本年6月に飯山市が行った市民アンケートの結果と10月～11月に行った市民説明会の意見・要望を踏まえ、これまで委員会で検討された協議内容をまとめ、課題と併せて報告をします。

なお、具体的な規模、機能、配置等は、建設場所における周辺の施設環境との整合や建設費との検証が不可欠であり、今後建設方針の策定や基本設計をする中で精査が必要です。

1、芸術・文化機能

(1) ホール施設

□質の高い芸術・文化活動に対応できる舞台や音響設備

規模の大きい催事や講演会、演劇、コンサートなどの活用が想定されます。

□多様なニーズに応じられる空間

市民の活動を中心とした発表会、講演会、映画上演、軽音楽、ギャラリーなどの活用が想定されます。

芸術・文化活動以外にも、施設の有効活用として、商業用展示会や軽運動、避難所など多様な利用が求められます。

【課題】

① 1つのホールで上記の機能をまかなう場合には、分割又は開放したり、客席やステージを移動（可動式等）することで、施設を効果的に利用できる反面、同時に複数の会場を使えなかったり、使い方が制限されたりすることが考えられます。

また、維持管理コストや運営方法についても十分な検討と対策が必要です。

② 大・小2つのホールで上記の機能をまかなう場合には、目的に応じ利用しやすくなる反面、利用率向上を図るための、運営上の対策と工夫が必要になると考えられます。

また、建設コスト、維持管理コストについても十分な検討と対策が必要です。

③ ホールの客席数に関しては、大ホールを設ける場合には500～600席程度、小ホールを併設する場合には200席程度が必要と考えます。

(2) 付属施設

市民の主体的な芸術・文化活動を支え、ホール施設を一層利便性の高いものにする
とともに、誰もが気軽に使える練習場所の確保などの整備が必要と考えます。

ホワイエ^{※2}・楽屋・リハーサル室・応接室・展示室など、ホール施設の関連施設
の側面とともに、芸術・文化活動や会議・交流を支える場として整備が必要と考え
ます。

防音機能を備えた練習室や親子鑑賞室など、市民が気軽に練習や鑑賞ができる場の
整備が必要と考えます。

駐車場や広場など、ホール施設や施設全体を利便性の高いものにするため、必要条
件として十分なスペースが必要と考えます。

屋外コンサートなどの複合的な活用にも対応できる工夫も必要と考えます。

2、交流・にぎわい機能

芸術・文化機能に併せた付加機能として、市民の交流やにぎわいの拠点づくりに、諸
施設の充実が必要であると考えます。今後具体化する中で、以下に出されたような機能
について検討する必要があります。

(1) 屋内の機能

会議室・調理室など日常的に市民が交流できる場

子育て、冬の子どもの遊び場など親子がふれあえる場

カフェ、軽食など、店舗や企業、市民活動グループ等の参入により、市民が立ち寄
れる場

軽運動やトレーニング室、付随するシャワールームなど市民の健康づくりの場

図書室や市民の活動が展示できる展示室など学習・発表の場

パソコン・インターネット閲覧室や観光案内など情報の場

(2) 屋外の機能

水辺、遊具、緑地などが整備された広場

バスケットボールコート、スケートボード施設(スケートパーク)など若者が集え
る場

(3) 行政機能

子育て支援、日曜保育、行政事務手続きなど市民サービスの場

(4) その他機能

ホールやホワイエから中庭に通じる一体的な空間を整備する工夫をし、フリーマー
ケットや雪まつりなど多様なイベントに活用できる場

※2ホワイエ：玄関付近の客だまり、ロビー